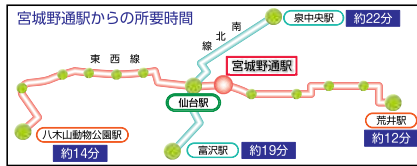


宮城野通駅



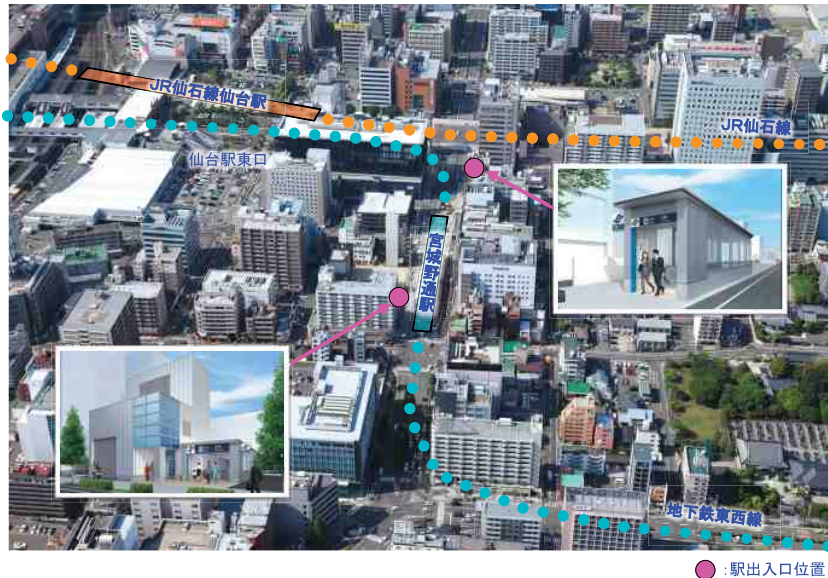
① 駅周辺地区の現況

- 駅周辺は、都市基盤が整備された業務地が形成され、東側には寺町が広がっています。
- 駅北側は、仙台の新しい玄関口となるJR仙台駅東口とそこからコボスタ宮城につながる宮城野通に接し、東側には多くの社寺等が立地しています。
- 駅周辺一帯は、容積率が400～600%の商業地域に指定されています。

② まちづくりの目標

ビジネス、暮らし、寺町の歴史が共存する、都心の東の玄関口となる街の形成

■ 駅周辺では、仙台駅東口駅前広場の整備、マンションや商業施設等の複合開発など基盤整備が進んでいます。また、東北楽天ゴールデンイーグルスの試合開催の際には大勢の観客であふれ、音楽ライブに市内外から多くの観客が集まるなど、仙台駅東地区は多様な魅力を持った交流の街へと大きく変化を遂げています。このような変化をふまえ、仙台駅西口・東口地区の連絡機能の強化、駅周辺の低密度利用地の高度利用、仙台駅東第二土地区画整理事業の推進、寺町としての歴史資源の活用などにより、都心の東の玄関口となる個性ある街の形成を目指します。



③ 目標の実現に向けた施策

- 都心の東の玄関口にふさわしい高度利用と都市機能の強化
- 仙台駅東口の賑わいや魅力の創出と回遊性を高める交通環境の形成
- 美しい街並み景観の形成
- 多様な世代が安心して快適に暮らせる街の形成

